

# たんぽぽ教室だより

令和6年度3月号

## お世話になりました



梅の便りも聞かれるようになりました。もうすぐ春ですね。

さて、たんぽぽ教室の三者面談が行われていますが、お忙しいところ時間を割いていただき、ありがとうございます。面談では、それぞれの立場からお子さんの成長や課題を確認しています。やはり、保護者の皆様や担任の先生方との連携の大切さを改めて感じました。

保護者の皆様には、たんぽぽ教室への深いご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。連絡ノートへの温かいコメントやご意見、励みになりました。1年間お世話になりました。



## 3月の予定

今年度で通級が終了になるお子さんには、「たんぽぽ卒業証書」を校長室でお渡しします。おめでとうございます。



※次ページもお読みください。



## たんぽぽ教室の1年



たんぽぽ教室では、この1年、いろいろな子供たちと学習をしてきました。


漢字を読んだり書いたりすることが苦手で、音読もたどたどしかったAさん。まずは、教科書の漢字がフラッシュカードでスムーズに読めるようにしました。また、漢字の足し算でパーツの組み合わせであることを理解したり、語呂合わせでお話を作って覚えたりしました。タブレットを使って大きく筆順通りになぞると、文字の形も整ってきました。音読も漢字も前より上手になって、たんぽぽ卒業です。

グループでの友達との関わり方の学習。のんびり屋で受け身のBさんでしたが、毎回同じ流れで学習しているので、「次はふりかえりだよ」と、友達に教えることもできるようになりました。段ボールハウス作りでは、「ここ持ってて」「テープ貼らなきゃね」と自分から友達に声を掛けることもできました。一人もいいけれど、友達と遊ぶことも楽しいと感じたようです。

Cさんは舌の癖があって、「しまうま」が「ひまうま」になっていました。「ちきゅう」は「ききゅう」と書くなど、い段の音の歪みが影響しています。舌の癖を取るのに、お口の体操をして舌の真ん中から息が出せるように繰り返し練習。次に舌を出したまま「し」、さらに「し」の付く言葉も言えるようになりました。長い地道な練習が続きますが、遊びを入れながら、「ち」や「き」の練習にも取り組んでいきます。

初めての場所、初めての生活、新しい友達・・・環境の変化に対応するのが苦手なDさん。本当は、お話することが大好きだけど、緊張して言葉が出なくなるようです。そこで、糸電話で「もしもしDさん、元気ですか？」と話しかけてみました。すると笑顔で会話が進むようになりました。次第に気持ちもほぐれ、今では気兼ねなく会話がはずみます。教室でも、気の合う友達を見つけ、楽しい話題で盛り上がっているそうです。

Eさんは「算数ができるようになりたい!」と、とても強い気持ちで通級を始めました。「まず、かけ算九九を完璧にしよう。」という課題をあっという間にクリアしました。学習に根気強く真面目に取り組むことができるというよさを発揮して、学習内容を着実に身につけ学力が向上しています。勉強が分かる喜びをたくさん味わい、自分に自信がもてるようになりました。

 子供たちの成長に喜びを感じるとともに、指導者としても学んだ1年間でした。

